

創立 30 周年記念資料集

わたしたちの荏田南



30周年記念資料集刊行に寄せて

このたび創立30周年を期に、20周年の資料集を大幅に改訂し、授業で使える資料集をつくり、併せて資料を電磁化し、今後の地域の変化に対応できるようにしました。

30年前の港北ニュータウンの開発により、この地域は大きく変わりました。その折、小学校区をベースにして連合自治会をつくるというモデル地区構想により、地域と学区が一体化して、ふるさと作りをするというこの地域の特色が生まれました。最近、30歳の成人式が流行しているといえます。人を世代で考えるときも、30年をベースに考えます。30年たつと、卒業生の方が保護者になり、第二世代の子どもたちが入学してきます。人も、地域も、学校も本当の意味で成熟してくるということで、大きな節目の年ということが出来ます。

この資料集作りを通して、私たち教職員も、改めてこの地域の歴史を学ぶことが出来ました。フラミンゴ色の校舎の色の由来、校歌に入れていただいたこと、ふるさと作りが夏祭りからさらに発展して都筑区民祭りのベースになったこと、かつての荏田南にお住まいの方々、荏田分校、高学年は山内小学校まで通っていたことなど、歴史をひもといていく楽しみを感じることが出来ました。子どもたちも、この資料集を使うことで、歴史の道に立つ喜びを感じてくれれば、この資料集を作った先生方の苦勞も報われます。

校長室の壁には、3葉の写真が飾ってあります。10周年、20周年、30周年の人文字の航空写真です。写真技術の進歩に驚くとともに、荏田南小学校が確かな年輪を刻んできたのを実感します。30周年のスローガン「感謝～笑顔あふれて心に残る～30周年」、マスコットのシャイン、記念ソングができたのも大きな歴史の一步です。23年度には、PTAの熱心な活動が文部科学省から表彰され、24年度は特別合唱部がNHKの合唱コンクール横浜地区予選で銅賞を獲得するなど、輝かしい実績も上げています。

現在もそしてこれからも、発展をしていくこの地域ですが、この節目の年にまとめをし、次の50周年に向けて新たなる一步を踏み出します。資料をまとめるに当たり、ご協力いただいた地域の皆様に、心より御礼申し上げます。

校長 白倉 晶子

もくじ

1	学校のまわり・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	学校のあるところ（3年）	
	学校から見たわたしたちのまち（3年）	
	学校のまわりのこうえん（1年・2年）	
	<コラム>都筑区の名前の由来、公園愛護会の活動	
2	商店・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	近くの商店のようす（3年）	
	売り方・買い方の工夫（3年）	
	買い物をする人の声（3年）	
	<コラム>都筑区の商業施設	
3	わたしたちの町ののうぎょう・・・・・・・・	12
	町の畑（2年・3年）	
	大矢さんののうぎょう（2年・3年）	
4	健康なくらし・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	ごみとわたしたちのくらし（4年）	
	都筑ふれあいの丘のしせつ（4年）	
	すみよいまちをつくるために（4年）	
	<コラム>都筑工場の中を見てみよう、葛が谷地域ケアプラザ 都筑水再生センター、水再生センターの仕組み	
5	安全なくらし・・・・・・・・・・・・・・・・	22
	交通事故からみんなを守る（4年）	
	火事からみんなを守る（4年）	
	地域の安全を見守る学援隊（全学年）	
	<コラム>ゾーン30、神奈川県警察、防災備蓄庫 港北ニュータウン	
6	れきしさがし・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	地いきのれきし（3年）	
	昔の人が使った道（3年）	
	日じょう生活で使った道具（3年）	
	米作りで使った道具（3年）	
	<コラム>地域に残る歴史、都筑民家園	
7	荏田南小学校のれきし・・・・・・・・	35
	荏田南小学校ができる前の昔のようす（3年）	
	学校のまわりから見える風景（全学年）	
	荏田南小学校のうつりかわり（全学年）	
8	まちとともに・・・・・・・・	40
9	資料・・・・・・・・	42
	校舎内マップ	
	校地・植物マップ	
	学校のまわりたんけんマップ	
	30周年航空写真	

1 学校のまわり

学校のあるところ



都筑区そう合ちょうしゃ

わたしたちの学校は、横浜市都筑区^{*}にあり、区の西がわにあります。道をはさんで、荇田南中学校がとりにあります。学校のまわりには、しいの木台ハイツやかしの木台ハイツ、グランノア港北のおかなどの住たくがあります。公園のせいびも進み、みのり公園や牛ヶ谷公園、ゆうばえのみちなど、多くの公園や緑道があります。

また、学校の近くには区内に2番目にできた鉄道、市えい地下鉄グリーンライン（日よし～中山）があります。学校のもより駅は都筑ふれあいのおか駅です。人口は、平せい22年4月に20万人をこえました。横浜市にある18区のうちで8番目に人口が多い区です。

都筑区

横浜市の北部に位置し、平成6年11月6日に港北区と緑区の再編成により誕生した。北部と中央部は港北ニュータウン地域で豊かな自然を残しつつ、都市と農業が調和した新しいまちづくりが進んでいる。

市営地下鉄グリーンライン

平成20年3月に、開業した横浜北部を東西に走る地下鉄。中山駅からブルーラインのセンター南駅・センター北駅で接続し、日吉駅まで13kmを結ぶ鉄道。



荇田南小学校

都筑区の名前の由来

「都筑区」という名前は、一般公募により決まりましたが、横浜の北西部一帯は、奈良時代から昭和14年まで「都筑郡」と呼ばれていました。歴史的に由緒ある地名を受け継ぐとともに、これからの街づくりが新しい「都を築く（きず）」という区民の総意で進むことを願って、つけられたものなのです。

学校から見たわたしたちのまち

屋上からわたしたちのまちのようすを見てみましょう。

① 東がわのようす

学校のすぐ近くの住たくは、しいの木台ハイツです。しいの木台ハイツの近くには、かしの木台ハイツがあります。この2つの住たく地いきは荇田南小学校と同じ時きにできました。2つの住たく地の周辺は、木々で囲まれた緑道があり、鴨池公園へとつながっています。鉄塔の下は、片がわ3車線の広い道路で、江田～新横浜方面をむすぶバス道路でもあります。この道路のバスてい近くには、お店や銀行があります。さらに道路を新横浜方面に向かっていくと、荇田南一丁目、葛が谷、平台の各地区になります。反対がわに見える集合住たくは、けやきが丘でとなりの荇田東第一小学校の学区です。

② 西がわのようす

反対の西がわは、荇田南二丁目・三丁目です。この地いきは、住たく地があり、近くにはさくら公園・どんぐり公園など、子どもたちが遊べる公園があります。二丁目と三丁目の間は広い道路になっておりバス路線です。道路にそって、飲食店やコンビニエンスストアがあります。三丁目のむこうには、荇田西地区や市ヶ尾方面が見えます。また、冬の晴れた日には、遠くたんざわ山地や雪をかぶったふじ山をくっきりとのぞむことができます。



東がわ



バスてい



かしの木台ハイツ



西がわ

③ 南がわのようす

すぐとなりの荇田南中学校が見えます。荇田南中学校は、荇田南小学校と同じ1983年9月に開校しました。校しゃの色も、おそろいのフラミンゴ色です。2つの学校は校門がいっしょで遊歩道をへだてて、ならんでたっています。

中学校のとなりには、牛ヶ谷公園があります。さらにその先が、^{おおまる}大丸地区になります。グランノア港北のおかの住たくもこの地区です。

小学校と中学校のまわりは、緑道で囲まれています。この緑道は、しいの木台ハイツの横からメゾン桜が丘へと続いています。



南がわ



正門

④ 北がわのようす

北がわには、荇田南ようち園やみのり公園があります。北がわの二丁目から三丁目にかけては、荇田南小学校ができたころは、住宅がぽつんぽつんとたっているだけで、ほとんどがあき地でした。その後、だんだん住たくがふえ、今のようになりました。

江田～新横浜間を結ぶ広い道路は、国道246号線につながり、東急田園都市線の江田駅へと向かっています。

このように、荇田南小学校のまわりには、住たく地が広がってきています。そして、公園があちらこちらにあり、緑道でつながっていることがわかります。



北がわ



荇田南ようち園

学校のまわりのこうえん

学校のまわりには、7つのこうえんがあります。こうえんは、ゆうばえのみちやささぶねのみちなどのりょくどうでつながっているので、あそんだりさんぽをしたりすることができます。また、こうえんのちかくにすんでいるとりがあつまってきたり、虫のすみかになっていたりして、たくさんのはっけんがあります。

①みのりこうえん

ちいきの人と^{えだみなみ}荏田南小の子どもたちがいっしょにかんがえてつくったこうえんです。子どもたちがうめこんでつくったモザイクのタイルがつかわれています。

②うしがやとこうえん

ひろいこうえんで、中学校のぶかつどうや小学校のクラブかつどうでつかわれています。まい年、ちいきのかつどうで7月には「あつまれ なつキャン」、1月には「^{*}どんどやき」などがおこなわれ、こうえんには、ちいきの人びとがたくさんあつまります。

③かもいけこうえん

どうろをはさんで大きないけとまんまるひろばがあります。いけには、いろいろな生きものがすんでいます。ザリガニつりができたり、いろいろなとりがあつまったりしています。



ささぶねのみち



みのりこうえん



うしがやとこうえん



かもいけこうえん

どんど焼き

正月15日に子どもたちが神社の境内などで、書き初めや門松、しめなわなどを焼く行事。

④ さくらこうえん

うしがやとこうえんのとなりにあるこうえんです。じゅうたくの中にあって、ブランコやたかいところからすべるすべりだいがあります。

⑤ どんぐりこうえん

学校から見て、けしょうばしをわたった先にあるこうえんです。こうえんをかこむようにして大きくてたかい木が立っています。ひろばがあるので、ボールあそびができます。

⑥ からたちこうえん

つづきふれあいのおかえきにいちばんちかいこうえんです。ブランコやすべりだいがありますが、ゆるるゆうぐが子どもたちに人気です。

⑦ やまぶきこうえん

じゅうたくにかこまれたこうえんです。花だんに花がうえられ、とりのすばこがあります。



さくらこうえん



どんぐりこうえん



からたちこうえん



やまぶきこうえん



かもいけこうえんの中のりょくどう

公園愛護会の活動

学区内にある公園・緑道には、愛護会があります。定期的に公園の清掃・除草や樹木への水やり・剪定、公園利用者へのマナーの呼びかけなどを行っています。主にその公園・緑道の周辺に住む地域の方でボランティアを募り、活動しています。

また、花壇の設置・管理、中低木を中心とした植栽の管理、雑木林や竹林の管理、公園を使ったさまざまな地域行事を行うこともあります。

2 商店

わたしたちは、どこで、どんな買い物するかしらべてみましょう。

近くの商店のようす

① 商店がい

わたしたちの学校の近くには、荏田南近りん商店がいがあります。商店がいに近づくとつれてかん板があります。車は通らず、みなゆっくりと歩いています。道の真ん中に木が同じ間かくで植えられ、きせつのかざりや、せんでんののぼりなどがあります。ベンチのある広場には、お花が植えてあり、どのお店にも雨水をためているたるがあります。そして、ゆうびんきょくや交番・病院もあります。

② スーパーマーケット

大がたのちゅう車場があり、たくさんの車を止めることができるので、遠くから来ている人もいます。店には、大がたのカートがあり、たくさんの品物を運ぶことができます。品物のしゅるいも多くあります。ふくろは有料なので、マイバッグをもって買い物に行く人がいます。そして、トレイや牛乳パックの回しゅうをしています。また、エスカレーターがスロープになっており、カートのまま2階へ行くことができます。

朝の8時30分から夜の9時30分まで長い時間あいています。



かん板



メインストリート



大がたちゅう車場



えい業時間

売り方・買い方の工夫

①商店がい

商店がいには、パン屋さん、肉屋さん、酒屋さんなど、昔からの店がいろいろあり、なじみのお客さんがたくさんいます。お客さんはおすすめの商品を聞いて買ったり、調理の仕方を教えてもらったりするなど、店の人と話をしながら買い物をするすることができます。

②スーパーマーケット

品物のしゅるいや数がたくさんあります。また日用品や化粧品など食料品以外のものもたくさんあるので、お客さんはいろいろなものをまとめて買うことができます。

③コンビニエンスストア

朝早くから夜おそくまで一日中開いているので、お客さんは時間を気にせずにお買い物ができます。食料品から日用品までひつようなものを買うことができます。

④ショッピングモール

スーパーマーケットなどで買えない物は、ショッピングモールなどの大がた店で買うこともあります。いろいろな品物があるので、家から少しはなれていても、電車や車で行きます。

⑤その他(たく配・い動はん売)

たく配は、店に行く時間がなくても買えるのでべんりです。品物を家まで配たつしてもらえます。い動はん売は、決まった曜日や時間に、人が集まりそうな場所に車で売りに来ます。新せんな物や出来たての物を買うことができます。



えだきん商店がい



スーパーマーケット



コンビニエンスストア



近くのショッピングモール



たく配

買い物をする人の声

① 商店がい

- おすすめの品物をしょうかいしてもらえ、作り方もわかりやすく教えてもらえます。
- 広場があり、車も通らないので安心して買い物ができます。
- 子どもや、お年よりのいこいの場になっています。
- きせつのかざりやお花があり、楽しみです。
- ゆうびんきょくや病院があり、買い物のついでに用事を済ませることができます。

② スーパーのお客さん

- 品物のしゅるいがたくさんあり、えらびやすいです。
- 安いねだんで、買うことができておとくです。
- 大がたのちゅう車場があり、一度にたくさんまとめて買うことができます。
- 朝早くから、夜おそくまであいていてべんりです。
- 日用品も売っていて助かります。
- 商品のあんないがわかりやすいです。
- おそうざいを買うことができるのでべんりです。



おすすめの品物ののほり



安全な通りときせつのお花



たくさんの品物



ノートや文ぼうぐ

都筑区の商業施設

都筑区にはたくさんの商業施設があります。特に、センター北駅とセンター南駅周辺には、多数の大型ショッピングセンターがあります。池辺町には、「ららぽーと横浜」があります。

<センター北駅周辺>

- ・モザイクモール港北…センター北駅前にある総合ショッピングセンターです。食料品や洋服、雑貨などが取り扱われています。屋上の赤い観覧車は都筑区の観光スポットの一つになっています。晴れた日にはみなとみらいまで見えます。
- ・ノースポートモール…センター北駅前にある複合商業施設です。いくつかの大型専門店が入っています。駅前広場との間に道路があるため、歩道橋が設置されています。
- ・YOTSUBAKO…4つの箱が積み重なったような形をしている建物なので、よつばこという名前になりました。レストラン、パン屋、雑貨屋、保育園、バレエスタジオなどがあります。
- ・ショッピングタウンあいたい…駅に直接つながっています。銀行、郵便局、スーパーマーケット、ファーストフード店、子育て支援センター、港北ニュータウン唯一のボート場などがあります。



モザイクモール港北



ノースポートモール



港北 TOKYU S.C.

<センター南駅周辺>

- ・港北 TOKYU S.C.…ショッピングセンター、レストラン、映画館などがあります。
- ・キーサウス…玩具店、スポーツ用品店、ファーストフード店があります。



ルララ港北

<センター北駅とセンター南駅の間>

- ・港北みなも…港北ニュータウン唯一の天然温泉施設、スーパーマーケットなどがあります。
- ・ルララ港北…家電店、スーパーマーケット、アミューズメント施設など、多数の大型店が集まっています。

<池辺町>

- ・ららぽーと横浜…神奈川県内最大級の13スクリーンを有する映画館、スーパーマーケットの他に、約370のお店があります。店舗面積は、9万3000㎡で、都筑区にある一番大きな商業施設です。



ららぽーと横浜

3 わたしたちの町ののうぎょう

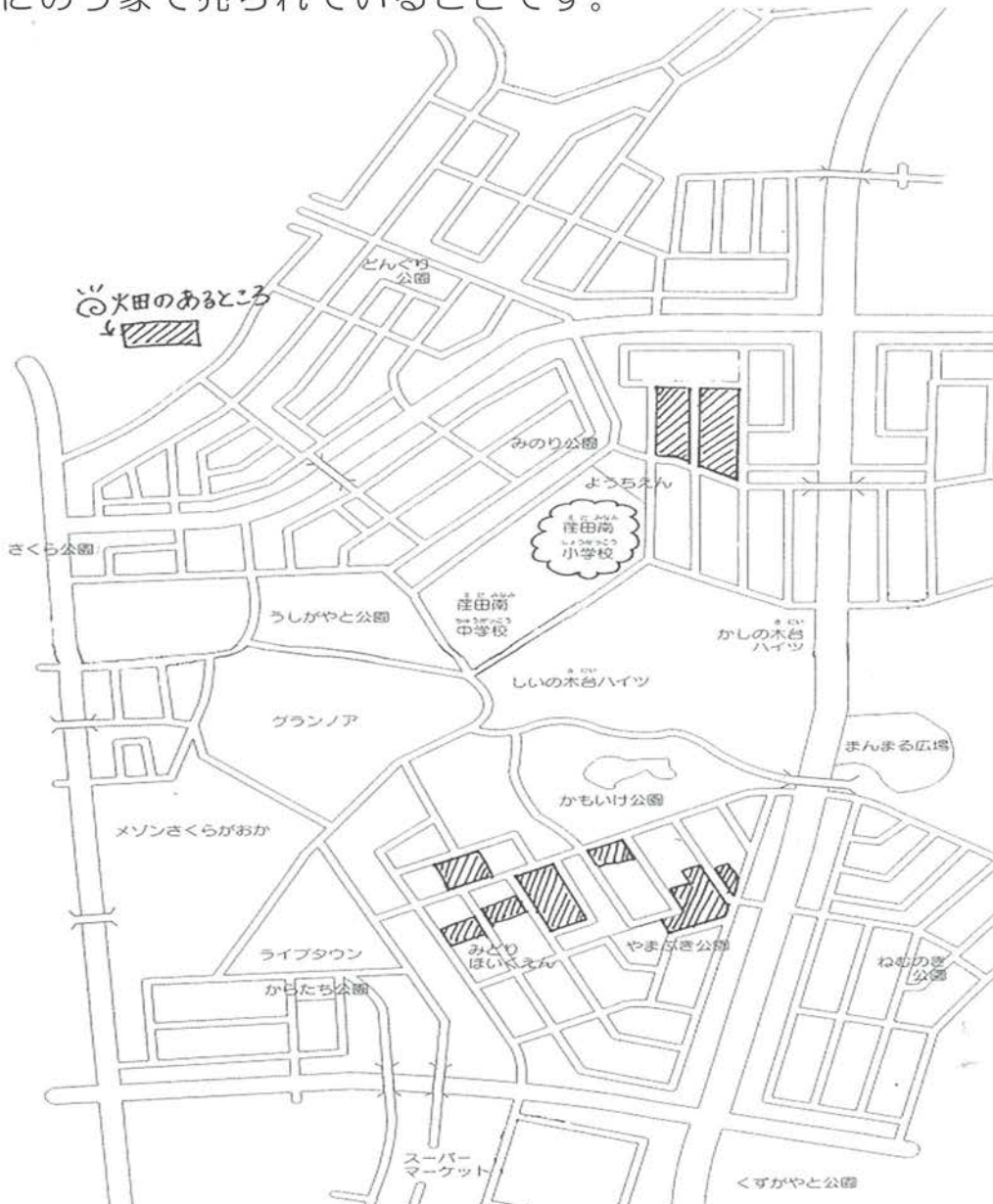
わたしたちの町ののうぎょう^{*}について、しらべてみましょう。

町の畑

家のそばには一ちょう目、二ちょう目などを中心に田畑があり、野さい、うえ木、くだものがそだてられています。この地いきののうぎょうのとくちょうは、しゅうかくされた野さいやくだものなどのほとんどが、その日のうちにのう家で売られていることです。

農業

田んぼや畑などで、生活に必要な食物などを作る活動のこと。



大矢さんののうぎょう

わたしたちの町でのうぎょうをしている大矢さんについてしょうかします。

①しゅうかくする野さいのしゅるい

大矢さんは、一年を通して多くの野さいやくだものを作っています。たとえば、ハクサイ、ナス、ピーマンなどがあります。畑にはビニルハウスもあり、そこでは、なえをそだてたり、きせつによっては野さいもそだてたりしています。

7月～8月にしゅうかくするトマトやナスは、2月にたねをまき、トウモロコシやエダマメは、4月にたねをまきます。このように、のうぎょうのしごとは年間を通して休まずおこなわれています。

②野さいの直売

しゅうかくした野さいは市場^{*}にも売り出します。大矢さんは、その野さいのほとんどを、近所の人に売ろうと考えています。それは、とれたてのしんせんな野さいを、地いきの人に直せつとどけたいという思いがあるからです。

③野さい作りのくふう

野さい作りは「土作り」が一番大じで、おちばや米ぬか^{*}などのたいひがたっぷり入った土作りをしています。そのほかにも日当たりや風通しをよくしたり、ぼう虫ネットをつかって、のうやくをなるべくつかわずに、虫や鳥をふせいだりと、多くのくふうをしています。

大矢さんは「子どもは宝」と考えて、荏田南小学校の行事や、子どもたちの畑見学などにもこころよく協力してくださっています。



ちちょう目にある畑



ビニルハウス



直売じょのかんばん

市場

生産物を持ち寄って、業者が売買する所。

米ぬか

米を精米するときに出る粉。

堆肥

落ち葉などを積み重ね、腐らせて作った肥料。



ぼう虫ネット

4 健康なくらし

わたしたちが健康にくらしていくために、学校や家の近くには、どんなしせつがあるのでしょうか。まちの人々がそれらをどのように利用しているか調べてみましょう。



都筑工場とつづきふれあいの丘のしせつ

ごみとわたしたちのくらし

①ごみの出し方

家や学校で必要がなくなったものはごみになります。しかし、すべてをもやすごみにするではありません。^{*}しげん物ともやすごみをきちんと分けることで、しげん物は^{*}リサイクルされ、また新しいものとして生まれ変わります。そのためには、「きちんと分ける」ことがとても大切です。ごみは、どのような分け方があり、どのような出し方をすればよいのでしょうか。

②もやすごみの流れ

もやすごみは、しゅう集車が集め、都筑工場に運びます。集められたごみは、もやされてはいになります。そのはいは、^{*}ほんもくはいき^{しよ}南本牧廃棄物最終処分場でうめ立てられています。もやした時に出る熱は、となりにあるしせつの温水プールやお風呂、冷だんぼうなどに利用されています。また、電気も作っています。電気は都筑工場などで使い、あまった分は電力会社に売っています。

資源物

缶・びん・プラスチック製容器包装・ペットボトル・古布・古紙・小さな金属など、リサイクルができるもの。

リサイクルの一例

アルミ缶はリサイクルされて新しいアルミ缶になる。ペットボトルはリサイクルされて、なんと衣類に生まれ変わる。

南本牧廃棄物最終処分場

中区南本牧にある海面処分場。埋め立ては、最終処分場から出る水を排水処理施設できれいにするなど、周囲の環境に影響を与えないように安全に行っている。

資源循環局の方のお話

ごみを出す時は、決められた収集日の朝8時までに決められた場所に出してください。また、ごみを減らしリサイクルできるようにごみの分別を正しく行ってください。時々、分別されていないごみが集積場所にありますが、そのような時は注意ステッカーを貼って残しておきます。横浜では、ごみを増やさないため、また限りある資源を大切に使うために「横浜3R夢（スリム）！」を合言葉に3Rを進めています。みんなが将来に夢をもてるまちづくりを目指していきましょう。

都 筑 工 場 の 中 を 見 て み よ う



①投入ステージ
ごみ収集車が集めたごみを、ごみピットに落とす。



②ごみピット
ごみは、すぐに燃やさず、ごみピットにためられます。



③ごみクレーン
ごみを焼却炉に入れます。1回に6トンのごみをつかめます。



④焼却炉
1日に400トン燃やせる炉が3基あり、850℃以上で燃やしています。



⑧煙突
高さは130mあります。害のない廃ガスを外に出します。



⑦バグフィルタ
体によくない物質を取り除いています。



⑥減温塔
燃やした時に出るガスの温度を200℃以下に下げます。



⑤ボイラー
燃やした時に出る熱を利用して、水を蒸気に変えます。



☆ごみザウルス
いろいろなごみから生まれました。(展示中)



⑪灰クレーン
灰クレーンでトラックに積みます。



⑩灰ピット
灰を一時的に貯めておくところです。



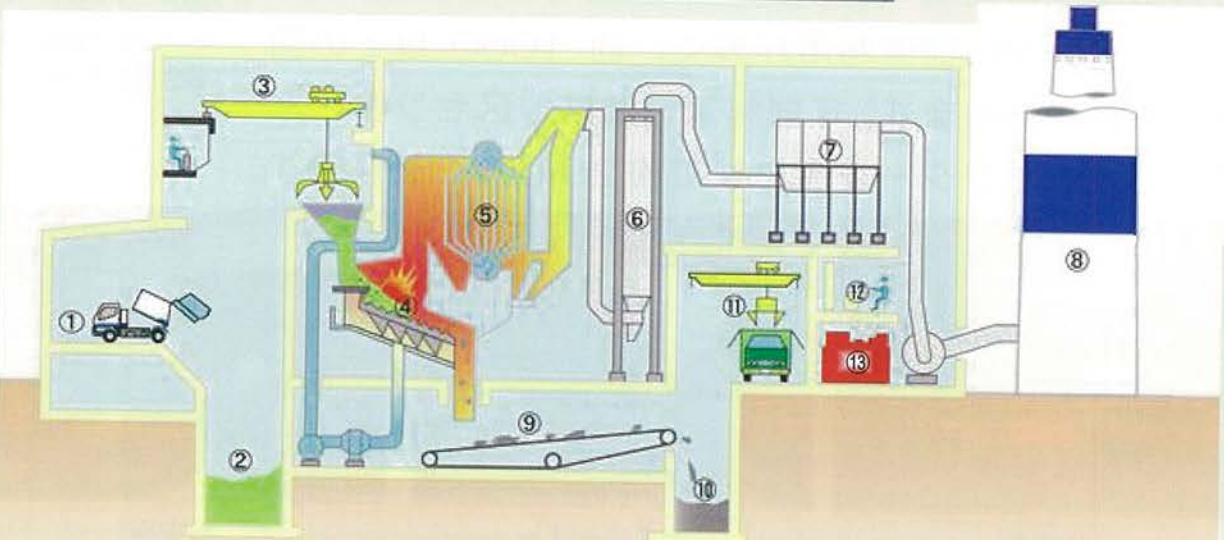
⑨灰コンベア
燃やした後の灰を灰ピットまで運びます。



⑫中央管制室
焼却炉の運転はここで行われます。24時間交替で働きます。



⑬タービン発電機
ボイラーで作られた蒸気を利用して電気を作ります。



都筑ふれあいの丘のしせつ

都筑工場のまわりには、まちの人々がいつでも楽しく使えて、“ふれあい”を広げられるようにという目的で、4つの大きなしせつが作られました。都筑工場の近くに集まっているのは、ごみをもやす時に出る熱（よ熱）を利用しているからです。



市営地下鉄「都筑ふれあいの丘駅」

① 都筑プール

よ熱を利用した温水プールです。一年中、大人から子どもまで、たくさんの人々が利用しています。25mプール、児童プール、よう児プールの3種類があります。子ども水泳教室やアクアビクス、ウォーターフィットネスなどのスクールも開かれています。



都筑プール

② 都筑地区センター

地いきの子どもからお年よりまで、全ての方が気軽に利用できるしせつです。読書、軽スポーツ、レクリエーション・クラブ活動、料理、工芸教室を通じて仲間づくりやふれあいを深める、交流の場として多くの人に利用されています。個人で利用できる図書コーナー・プレイルームや、主に団体で利用できる会議室・料理室・音楽室・工芸室などがあります。こ人利用の他に団体利用が多く、約1000以上の団体の登録があります。年間利用者数は地区センターと老人ふくしセンターを合わせて約25万人になります。



* 都筑センター

都筑センター
都筑工場の余熱利用施設で、「地区センター」と「つぎ緑寿荘」が併設された複合館。



体育室



図書コーナー



料理室

葛が谷地域ケアプラザ

都筑ふれあいの丘の周辺には、「葛が谷地域ケアプラザ」という施設があります。この施設は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作り出す」を基本理念としています。地域のボランティア・自主団体がいきいきと活動し、参加者同士のなごやかな雰囲気があり、明るく開放的です。地域ケアプラザの機能を活用した「地域の身近な拠点」として、各種の事業を効率的に実施しています。

葛が谷地域ケアプラザはこんなところ

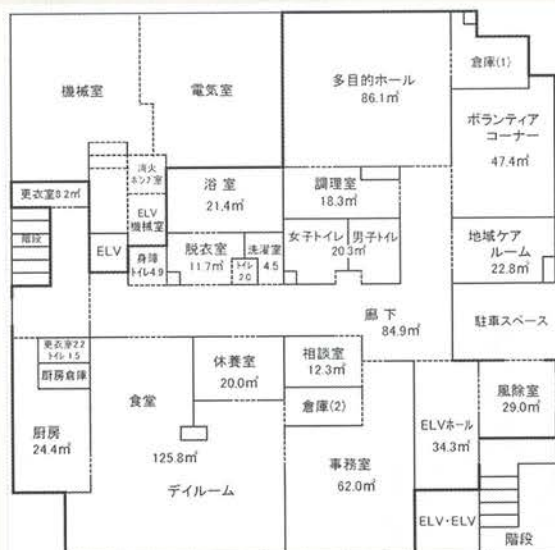
地域に住む小さい子どもからお年寄りの方まで、みんなが安心して暮らしていただけるように、次のようなことをしています。

人のため・まちのために頑張っている人やグループ（ボランティア、町内会のひとなど）を応援しています。地域の人たちと一緒に、みんなが住みやすいまちづくりのお手伝いをしています。（地域の中にお年寄りの方が集まれる場所をつくるなど）ケアプラザのお部屋を使って、子どもや障害がある方等のための取り組みも行っています。これを地域活動交流事業とよんでいます。

お年寄りの方が困っている事のお話を聞いて、困り事が解決するためのお手伝いをしています。また、お年寄りが健康に過ごせるためのイベントもしています。これを地域包括支援センターとよんでいます。地域包括支援センターには、専門の職員が3人います。

生活でお手伝いが必要になったお年寄りの方の困り事を聞いて、解決するためのサービスを調整しています。（ヘルパーさんの派遣など）このお手伝いをしてくれる人をケアマネージャーとよんでいます。

生活でお手伝いが必要になったお年寄りの方を車でお家にお迎えに行っ、ケアプラザの中でお昼やおやつを食べたり・お風呂に入ったり・運動したり・お話をしたり、1日いろいろなプログラムをして、楽しく過ごしてもらおう所です。これをデイサービスとよんでいます。利用している方から、利用料をいただいています。



すみよいまちをつくるために

学校の周辺には、たくさんの公園や緑道があり、緑が多い学区です。地いきの人たちがすみよいまちにするために協力して活動しています。

①公園せいそう

公園を利用する人が、気持ちよく利用できるように、会員をば集して公園あいご会をつくり、活動しています。

荇田南一丁目にある「やまぶき公園あいご会」では、月に1回第3日曜日に集まって、公園のそうじをしたり、草をぬいたりしてきれいにしています。花だんには、種から植えて育てた花が、きれいにさいています。子供会と協力して、工作教室を開いたり、じゅ名板を作ったりしています。

②資源回しゅう

毎月第2日曜日に、古紙、古布、アルミかんを回しゅうしています。

③クリーンCLEAN荇田大作戦

平成20年度から、荇田南小学校、荇田南中学校と荇田高校の3校の児童や生徒が一しょに協力して、地いきの6つの公園を中心に、ごみを拾いながらまちをきれいにし、交流を深めています。

道路ぎわの植木やバスていの近くには、よく空きかんや空きびん、たばこのすいがらなどが落ちています。拾ったごみを、中高生が分別し、^{*}地いきしんこう課の人たちに回しゅうしてもらいます。



緑道「^{*}ゆうばえのみち」

ゆうばえのみち

鴨池公園、川和富士公園、月出松公園をむすぶ緑道で、四季の変化を表す木立がつづき、川和富士の夕映えが美しいみちです。



やまぶき公園の花だん



巢箱やじゅ名板



公園でのごみ拾い



道路のごみ拾い

地域振興課

(資源化推進担当)

街の美化、地域清掃の支援などの仕事を行っている。

都筑水再生センター

下水道の施設は、生活排水等をきれいな水にする「水再生センター」（平成 17 年度に下水処理場から改名）と汚泥を資源化する「汚泥資源化センター」（平成 17 年度に汚泥処理センターから改名）があります。

都筑水再生センターは鶴見川と鶴見川の支流である恩田川との合流点近くに位置し都筑区の佐江戸・川和地区、青葉区の市ヶ尾・青葉地区、緑区の中山・長津田地区、旭区の二俣川・東希望が丘地区などを処理区域としています。

家庭では、炊事、洗濯、風呂、トイレに大量の水道水を使用します。さらに、工場や学校などからも大量の排水があり、そこから出る汚れは放置しておく、必ず腐敗していきます。この汚れた水は、下水管を通過して水再生センターに送られ、水再生センターできれいにされた後、川や海に返されます。私たちの生活は水の循環の中にあります。水の循環の中で、下水道はなくてはならない大切な存在です。下水道の役割は大きく 4 つあります。一つ目は自然環境を守ること、二つ目は浸水から街を守ること、三つ目は衛生的な街にすること、四つ目は水洗トイレが使用できることです。水再生センターでは水質試験を定期的に行って、基準を満たしていることを確認するとともに、よりきれいな水を返すことを目指しています。

水再生センターに集まった下水は、物理的にゴミを沈殿させ除去する方法や、微生物の働きにより水中の有機物を分解する方法、薬品で消毒する方法等、様々な方法を組み合わせて処理されています。この中で、特に重要なものが微生物の働きを利用した方法です。汚れた水をきれいにする主役は細菌類や菌類、それらを食べる原生動物や後生動物などの微生物です。この微生物を利用した方法は活性汚泥法と呼ばれ、大量の下水を処理するのに適しています。活性汚泥とは、微生物と有機物等が集まってできたかたまりで、泥のように見えることからこのように呼ばれています。活性汚泥法は、自然の浄化作用と同じ原理で、化学薬品などを用いずに水をきれいにすることができます。

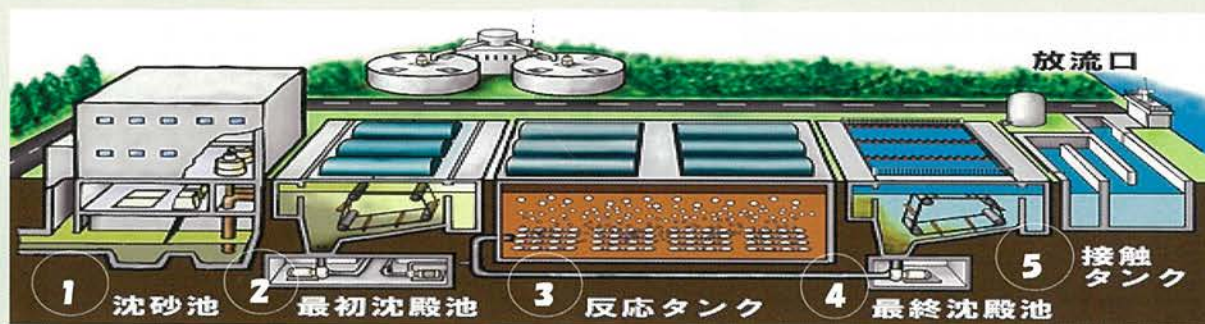


水再生センター正面玄関



水再生センター全体

水再生センターの仕組み



① 沈砂池

沈砂池は、一般家庭や家内工業などからの排水を浄化処理する最初の施設で、大きなごみや石を沈殿させて除去します。



② 最初沈殿池

最初沈殿池ではさらに時間をゆっくりかけ、沈砂池では沈降しきらなかった小さなごみなどを沈殿させて除去します。



③ 反応タンク

反応タンクは汚水処理の心臓部です。大量の空気を送り込むことで、微生物が水に溶けている汚れを分解します。



④ 最終沈殿池

最終沈殿池では、重くなった活性汚泥をゆっくりと時間をかけて沈殿させます。沈殿した汚泥の一部は、再び反応タンクに戻し、残りは汚泥処理施設に送り、処理します。



⑤ 接触タンク

接触タンクでは、処理水を塩素で消毒します。その後、川や海に放流します。



5 安全なくらし

わたしたちのまちには交通事故や火事からみんなを守るため、いろいろなせつびやしせつがあります。どんな働きがあるのか、また、なぜそこにあるのかも考えながら調べてみましょう。

交通事故からみんなを守る

① まちのせつび

わたしたちの学校の周りには、事故をふせぐために様々なせつびがあります。荏田南小学校の周りには、信号やガードレール、カーブミラー、横だん歩道、点字ブロック、道路標しきがあります。またスクールゾーンという道路表しもあります。

〈信号〉

歩行者用と車用があり、現在の信号には^{*}LEDが使われているの也有ります。

〈ガードレール〉

車が歩道に入ってくるのをふせぐため、歩道と車道の間^{*}にせつ置されています。

〈カーブミラー〉

曲がり角などにせつ置し、道路を見通せるようにする鏡です。

〈横だん歩道〉

歩行者と車のどちらからも見やすいように白色の線でしめしています。歩行者が安全に道路をわたるために信号機とともにせつ置されていることが多いです。

〈点字ブロック〉

目が不自由な人のために道にせつ置されているでこぼこのあるブロックです。

LED

白熱灯や蛍光灯とは違う原理で発光するため、長持ちして、故障しにくい特性がある。



歩行者用の信号機



ガードレール



カーブミラー



横だん歩道



点字ブロック

〈道路ひょうしき〉

危険な場所の注意を呼びかけ、交通をスムーズにするためにせっ置されています。

- 止まれ

信号のない所にせっ置してあり、車が一時停止をしなければいけないことを表しています。

- ちゅう車きん止

車がちゅう車をしてはいけないことを表しています。

- 歩行者せん用

歩行者と自転車のせん用道路であることを表しています。



止まれ



ちゅう車きん止



歩行者せん用

〈スクールゾーン〉

地いきの子どもを交通事故から守るため、PTA・自治会・都筑けい察しよ・区役所・土木事む所などの人々によってスクールゾーン対さく協議会が組しきされています。通学路やその周辺を子どもの事こが発生しないようにスクールゾーン地いきとして、車の運転手に安全運転をするように注意しています。



スクールゾーン

ゾーン 30

住宅地域等をゾーンとして区域設定し、その区域の抜け道利用や自動車の走行速度を抑制することで、歩行者等の安全を確保するものです。

ゾーン 30 として区域設定された住宅地域等の区域入口においては、その区域の制限速度が時速 30 キロメートルであることを示す標識や、路面標示を設置し、ゾーン 30 に設定された区域の入り口であることを明確にすることにより、その区域の抜け道利用や自動車の歩行速度を抑制することによって歩行者等の安全確保が期待にできます。

平成 25 年から荏田南 2 丁目地区周辺の生活道路が、ゾーン 30 に設定されました。

② 近くにある交番

わたしたちのまちの安全を守ってくれている交番は荏田東交番です。

交番のけい察官は、わたしたちの安全を守るために、地いきをパトロールしたり、家庭を回りぼうはんの連らくをしたりしています。事けん・事が起きたらいち早くかけつけ、他のけい察官と協力してはん人をつかまえます。また道案内をしたり、落とし物のとどけ出を受けたりしています。



荏田東交番

神奈川県警察

神奈川県警察は、神奈川県が設置した警察組織です。神奈川県内を管轄区域とし、神奈川県警と略称します。

神奈川県警には交通管制センターと通信指令室があります。交通管制センターには、巨大スクリーンがあり、神奈川県全域の地図が映し出されています。その地図に、どこで事故があったのか、道路が渋滞しているのかが一目でわかるように表示されています。そこでわかった道路の状況を、ラジオで伝えています。



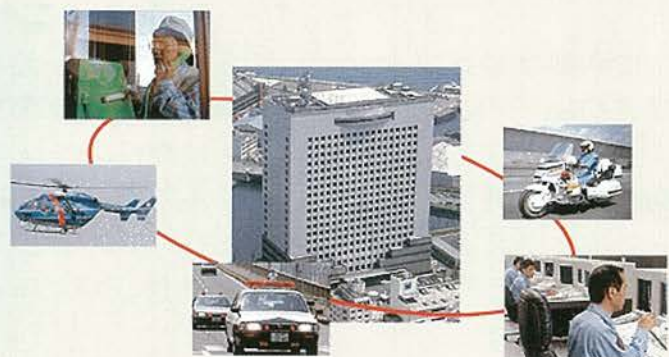
神奈川県警察本部

通信指令室は 110 番通報を受けている所です。24 時間体制で事件や事故に対応し、速やかな解決をはかるために強力な通信指令システムを導入しています。市民の安全と安心を守るために日夜、カーロケータシステム、超高精細ディスプレイ、地図情報システムなどの最先端テクノロジーが活躍しています。

カーロケータシステムとは、パトカーの現在位置や活動状況を地図画面で確認し、現場に最も近いパトカーや警察署に的確な無線指令を出すための GPS 衛星を応用した位置確認システムです。



カーロケータシステム



110 番通報の仕組み

火事からみんなを守る

横浜市の火事のけん数は、1年間で約1700件です。主な原因は、1位放火、2位たばこ、3位こんろです。火事から、わたしたちの住むまちを守るためにどのような工夫があるのか調べてみよう。

① まちのしせつ

まちには、火を消すために、消火せんやぼう火水そうなどのしせつがあります。また、川や池、学校のプールも消火のために使われる大切なものです。

<消火せん>

消火活動に必要な水をきょう給するためのせつびです。消火せんて消火用の水を水道管から取り出します。

<ぼう火水そう>

*
消ぼう水利のひとつで、消火せんが使用できなくなったときにそなえ、地下に消火用の水をためておく水そうです。

② 消ぼうだん

消ぼうだんは、まちの人々が中心になって作られています。ふだんは自分の仕事をし、火事が発生すると、消ぼうしょ員と協力して消火活動をします。夜でも無線で火事の発生を聞き、出動したり、日ごろから消火訓練をしたりしています。わたしたちのまちの消ぼうだんは、都筑消ぼうだんの第3分だん第4はんの方々です。荏田南2丁目に消火用の器具置場があります。



消火活動の様子



消火せん



防火水そう

消防水利

消火活動を行うための水がある施設のこと。



消防だんの器具倉庫



消ぼうだんの持ち物

③ 近くにある消ぼうしょ

わたしたちの住んでいる都筑区には都筑消ぼうしょがあります。都筑消ぼうしょでは、このまちの安心・安全を支えるため、川和、佐江戸、仲町台、北山田の4か所に消ぼう出ちょう所を配置しています。火事やさい害を防いだり、火さいでの救助や救急を行ったり、区民の安全かくほをしています。



都筑消ぼうしょ

都筑消ぼうしょでは、「安心・安全が毎日実感できる、
魅力ある元気なまち」を目標に日々活動しています。

防災備蓄庫

大きな災害に備えて、学校には防災備蓄庫があります。防災備蓄庫の中には、非常災害の時の食料や水、けが人や急病人を手当てしたり助けたりするための担架や松葉づえ、ロープやのこぎりなどの道具が入っています。

食料・水



救助用品



救護用品



生活用品



荏田南小学校は地域防災拠点となっています。上記物資の備蓄場所の他、食料や水などの配布場所、生活情報の提供場所、家が倒壊した方の一時的な生活場所、家族の安否確認場所にもなります。

地域の安全を見守る学援隊

「よこはま学援隊」は、学校と保護者・地域の方とが協力して児童生徒の安全見守り活動をしています。また、学校内・通学路の安全見守りなどを行っている保護者・地域の方々のボランティア活動を支援しています。こうした活動によって、安全・安心な学校づくりが進むことを目的としています。

① 連合自治会

青パト隊として、地域の巡回や登下校のパトロール、また、各自治体では夜間のパトロールをしています。

② 見守り隊

荏田南小の子どもたちの登下校時に通学路で見守っています。

③ P T A 校外委員会

校外委員の方が全員パトロールの実施や「こども110番のいえ」の設置、地区別班の編成などを行っています。

④ 子供会

地域に住む子どもたちでラジオ体操をしたり季節のイベントを楽しんだりしています。

⑤ はまっ子ふれあいスクール

子どもたちが通い慣れている学校の施設を利用して、異学年交流や子どもたちの放課後の居場所づくりをしています。



連合自治会（青パト隊）



見守り隊



P T A 校外委員会



どんど焼きでの子供会



はまっ子ふれあいスクール

都筑民家園

横浜市歴史博物館に隣接した大塚・歳勝土遺跡公園の竹林を抜けて、門を入ると、時代を感じるかやぶき屋根と土壁が目に入ります。建物の中は木の香りがして、つやのある板の間の使いこまれた囲炉裏が時代を感じさせます。

江戸時代の民家「旧長沢家住宅」を中心に管理棟、庭などで構成される区域を都筑民家園といいます。

長沢家は、横浜市歴史博物館から程近い都筑郡牛久保村（現在の都筑区牛久保町）にあった旧家で、江戸時代の一時期には、村方三役の名主役や組頭を勤めていました。旧長沢住宅の建築年代は、新しい形式も取り入れられているものの、柱の一部にちょうな仕上げが見られること、土間境の柱が大黒柱となっていないことなどの古い形式を残しているため、横浜に残っている民家の中ではかなり古いものであることが分かりました。

長沢家が建っていたかつての環境は、丘陵地の裾にあって、屋敷の南側が谷戸田の水田で、その東に肥料小屋の「しもや」、西南に物置、東南に倉庫があって、東北には竹藪、北側には古いケヤキの老木がありました。

昭和54年に横浜市に寄附され、復元後、一般の人々に公開されるようになりました。主屋と馬屋はろうかであつなわれ、棟をそろえて連続して建てられています。主屋の柱は一間毎にたてられ、各柱間には板戸2枚と障子戸1枚が入っています。

（江戸中期頃、横浜指定文化財）

茶室は、広間（^{りんてい}輪亭）と小間（^{かくうんあん}鶴雲菴）と水屋などの部屋が隣り合って作られています。主屋の民家と違和感がない様に、小間の壁止め・登り梁は「ちょうな」という古い手道具で仕上げています。柱・梁などの木材は古色仕上げにすることにより、侘びて落ち着いた雰囲気になっています。（平成21年度ヨコハマ市民まち機構、平成22年3月竣工）

現在では、お正月や節分、ひな祭りなどの年中行事をはじめ、かまどでご飯炊きやスイカ割りなどの懐かしい遊びの体験ができます。貴重な文化財というだけでなく、伝統文化を体験できる市民の憩いの場やコミュニティアートなど、文化活動の場となっています。



都筑民家園



茶室（鶴雲菴・輪亭）

7 荇田南小学校のれきし

わたしたちの荇田南小学校のれきしを調べてみましょう。

荇田南小学校ができる前の昔のようす

このあたりは、都筑ぐんとよばれ、大昔から人が住んでいる所でした。東京わんがずっと^{*いりえ}入江となっていて、このあたりまで海でした。

人は、けものを追いかけて、海で魚や貝をとって生活していました。そのいせきや貝づかから^{*}当時を知ることができます。おそらく入江に近く、丘がつづいていたこの地いきは、とても住みよい土地であっただろうと考えられます。

また、え戸時代から^{*こうしんしん}庚申信こうがさかんであったため、たくさんの^{*こうしんとう}庚申塔がのこされています。その他にも神社やお寺があることから、昔からこの地いきは^{*}信こう心があついとこであったことがわかります。

皆さんが住んでいるこの地いきにみやこをきずこうという昔の人のゆめが今、港北ニュータウンという形となって実げんしたのです。

入江

湖や海の、陸地にはいりこんだところ。

遺跡

むかしの人が残した、家や町があった場所。

貝塚

古い時代の人が食べた貝のからが積もった場所。

庚申信仰

庚申の夜に寝ると、人の腹の中にある3匹の虫が帝釈天にその人の罪を告げ、命を縮めるとされる習俗を信じる心。

庚申塔

P.30「④下宿庚申塔」参照。

信仰心

神や仏など、ある神聖なものを信じる心。



20年前の荇田南バス停付近



現在の荇田南バス停付近

山内小学校に通っていた方のお話

戦争中で学校に通えない子どももいましたが、このあたり子どもたちが通っていた小学校は、荇田分校と山内小学校でした。私は3年生まで荇田分校で学び、4年生から山内小学校で学びました。

当時は、学校が遠かったり学校に通う子どもも増えたりしていたので、分校がありました。その1つが荇田分校です。現在の地域ケアプラザの所にありました。山内小学校は現在の青葉区にあります。

1時間以上かけて、歩いて通いました。学校から帰っても、遊ぶことよりも家の仕事の手伝いをしていました。

私の家は農家でしたから、農作物の世話をしたり収穫を手伝ったりしていました。どの家も子どもが手伝いをするのは当たり前前の時代でした。



昭和 26 年 荇田分校の頃

開校当時の荇田南小学校に通っていた方のお話

思い出すのは、30年前。港北ニュータウンが開発されたことを機に引っ越してきました。私と弟、妹を待っていたのは見たこともないフラミンゴ色の校舎です。

1学年1クラスずつで、クラスメイトも10数名しかいませんでした。だから、真新しい教室も校庭も広すぎるくらいでした。私の母は、開校当時、校歌の歌詞が募集され、一生懸命考えた歌詞の一部が採用されたことが印象に残っているようです。母校である荇田南小学校に自分の子どもが入学し、不思議な感じがします。教室や廊下に使い込まれた味わいがあり、今の荇田南小学校に感じることは、「活気」と「蓄積」です。



そうじの様子



給食の様子

学校のまわりから見える風景

1983年



2013年



校舎から見た東側のようす



校舎から見た北側のようす

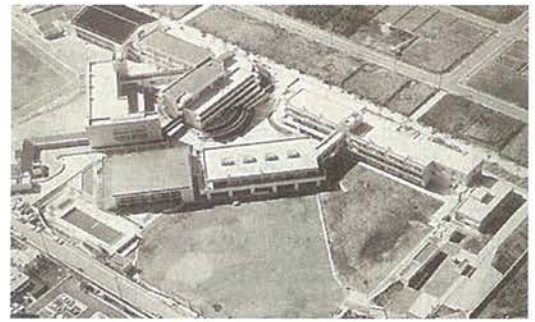


校舎から見た南西側のようす

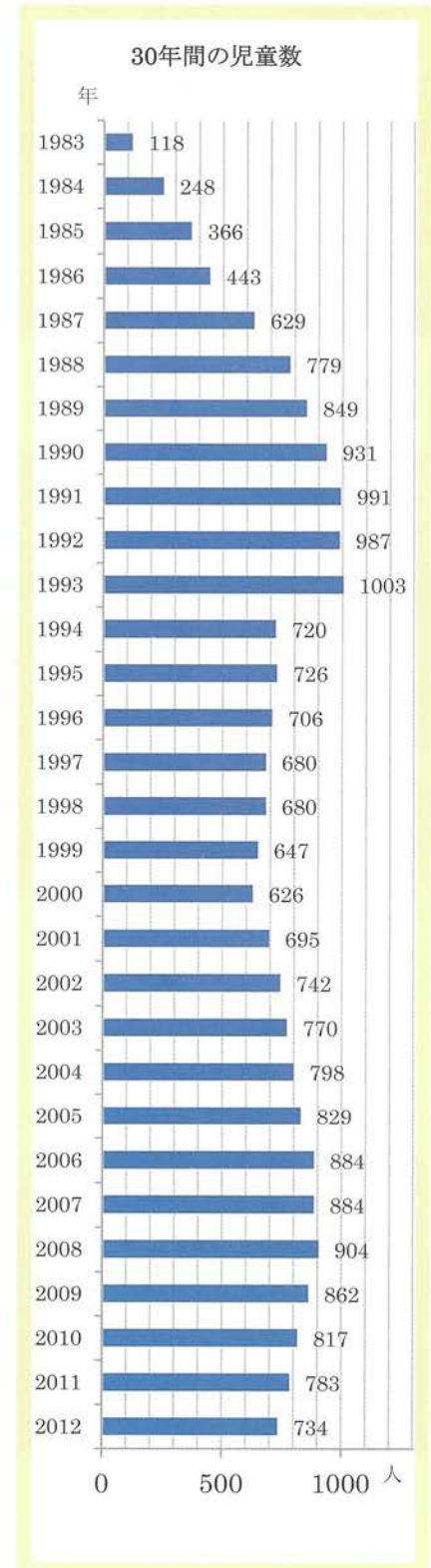
荇田南小学校のうつりかわり

①年表

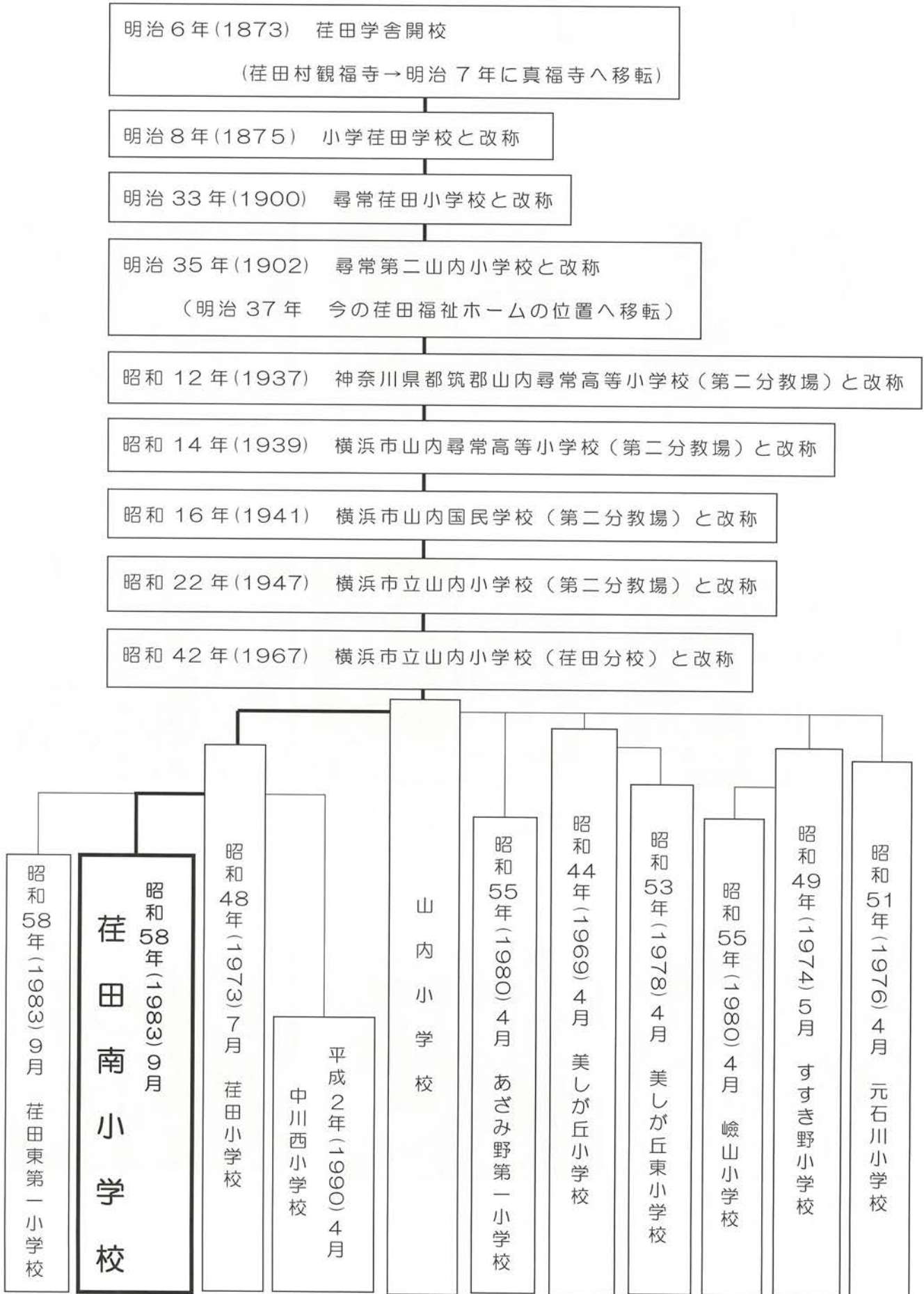
- S.58年（1983）9.1 荇田小学校から独立開校
- S.59年（1984）5.15校章制定、6.1 校旗制定
- S.60年（1985）12.14校歌制定
- S.62年（1987）児童急増のため
プレイルーム、図工室→普通教室へ
- S.63年（1988）花壇前にプレハブ教室建設
- H.元年（1989）校舎増築（B棟）工事竣工
- H.2年（1990）A棟2階ホール→普通教室へ
- H.3年（1991）A棟3階ホール→普通教室へ
- H.4年（1992）職員室拡張
- H.5年（1993）焼き釜庫完成
- H.6年（1994）川和東小、茅ヶ崎台小開校のため児童減
A棟普通教室
→ランチルーム、フラミンゴホールへ
はまっ子ふれあいスクール開校
- H.9年（1997）防災備蓄庫設置
- H.11年（1999）エレベーター設置
- H.13年（2001）フラミンゴホール→普通教室へ
- H.16年（2004）防犯監視カメラ設置
自動火災報知設備改修
コンピュータールームを移設し、
ランチルームと共有（多目的ホール）
大空ホール普通教室増設
- H.18年（2006）はまっ子ルーム移動交替改修、
管理棟 LAN 設置、インターホン設置
- H.19年（2007）学校内門設置
- H.20年（2008）お父さんの会発足
- H.23年（2011）非常放送設備更新



開校の頃の校舎



② 荇田南小学校のうつりかわり



8 まちとともに

荇田南小学校では、いろいろな活動を通して、地域の方々とふれあっています。



荇田南幼稚園、みどり保育園の友達と昔遊びを楽しむ（1年）



学援隊の方と楽しく交流給食（1年）



荇田南幼稚園・みどり保育園をおもちゃランドへ招待（2年）



畑を見学し、野菜作りを教えてください（2年）



合唱を披露した後、幼稚園、保育園の友達とゲームを通して交流（3年）



都筑地区センターやスーパーを見学（3年）



荇田高校書道部によるパフォーマンス書道の後、大判書道を体験をする（4年）



荇田南小学校、荇田南中学校、荇田高校と一緒に、クリーンCLEANえだ大作戦（4年）



保護者の方によるミシン学習のお手伝い（5年）



保護者の方にお手伝いいただき、
収穫を祝うもちもち祭り（5年）



荏田高校陸上部からアドバイスを受ける
（6年）



福祉施設を訪問（6年）



保護者と健康について考える
（学校保健委員会）



地域の方へ合唱を披露
（特別合唱部）



夏祭りで腕前を披露（和太鼓クラブ）



いろいろな理科実験を体験
親子わくわく教室（PTA）



土曜参観後に親子で工作
（お父さんの会）



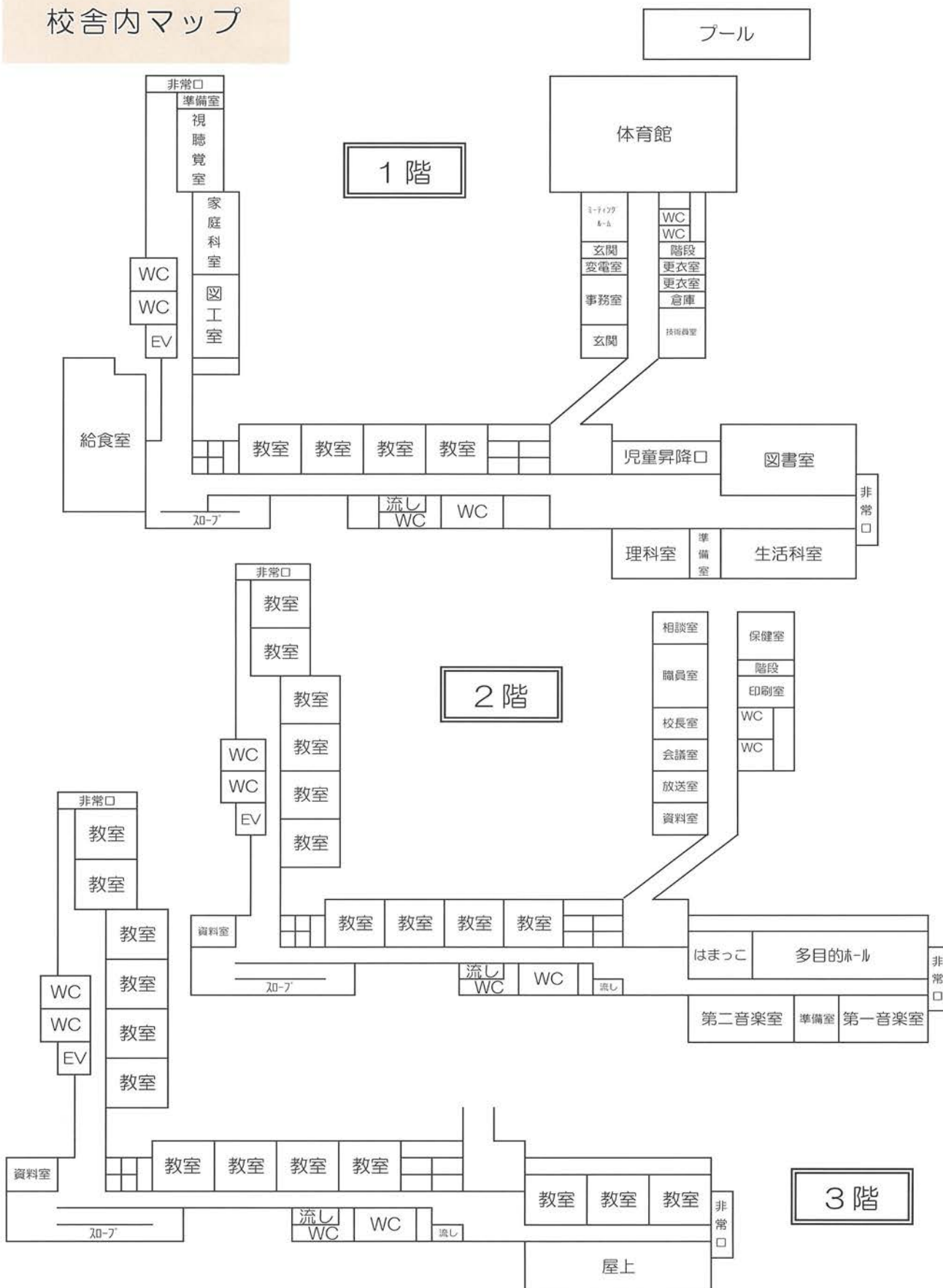
図書室の掲示や本の貸し出し
本の修理、整頓
（図書ボランティア）

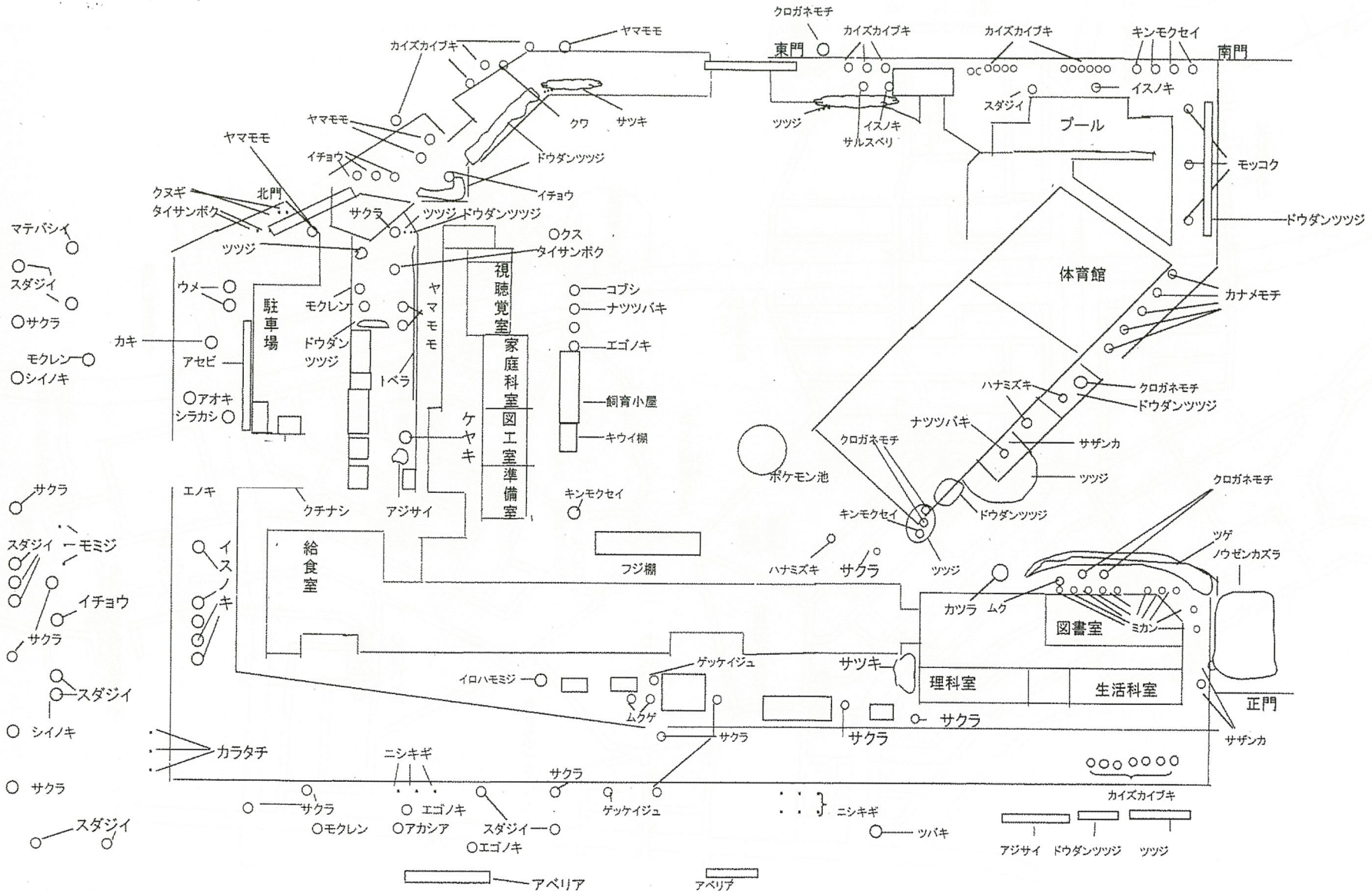


読み聞かせて本に親しむ
（絵本とおはなしの会、
かたらんらん）

9 資料

校舎内マップ





30 周年航空写真



お わ り に

わたしたちの学校は、横浜市のまちづくり計画「港北ニュータウン」の開発事業とともに誕生しました。この30年間に、住みやすく豊かな自然に囲まれたこの地域に人々が住み、このまちをふるさとと愛する人々が多くなりました。フラミンゴ色に美しく輝く校舎は、創立当時から地域のシンボルです。

創立30周年の記念の資料集「わたしたちの荏田南」ができました。10周年、20周年の資料に、さらに荏田南のあゆみを加え、みなさんにわかりやすく利用しやすい形にまとめられました。荏田南小学校のことやその学区のまちのことが、よくわかる本となっています。この本を大切に、さまざまな学習の資料として活用してほしいと願っています。

この資料集作成にあたり、ご協力いただきました地域の皆様、保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。今後とも荏田南小学校の教育活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副校長 駒沢 綾子

ご協力いただいた方々（五十音順に掲載させていただきました）

穴原知代子 様（平成24年度PTA校外委員会委員長）
植田 亜弥 様（卒業生）
大矢 知道 様（大矢農園）
北原 勝利 様（平成24年度荏田南一丁目自治会会長）
志村 一郎 様（荏田南連自治会会長）
横手美枝子 様（はまっ子ふれあいスクールチーフパートナー）

荏田南連自治会（青パト隊）の方々
見守り隊の方々
平成24年度PTA校外委員の方々

ご協力いただいた機関や団体（順不同）

横浜市資源環境局都筑工場
都筑プール
都筑地区センター
老人福祉センター都筑緑寿荘
障害者研修保養センター横浜あゆみ荘
横浜市葛が谷地域ケアプラザ
都筑土木事務所
横浜市環境創造局都筑水再生センター
神奈川県警察
NPO法人都筑民家園管理運営委員会
タカヤマ写真（表紙写真提供）
国際総合企画 横浜（航空写真提供）

参考とした資料（順不同）

- 「写真集 港北ニュータウン むかし・いま、そして未来へ・・・」
設立 20 周年記念写真集刊行委員会
「小学校 3 R 夢学習副読本（平成 24 年度版）」横浜市資源循環局
「ふらみんご」荏田南小学校創立 10 周年記念資料集
「山内」山内小学校創立 120 周年記念誌
「山内小学校百年の歩み誌」山内小学校百年の歩み誌発行委員会
「横浜市学校沿革誌」横浜市教育委員会
「わたしたちの荏田」荏田小学校創立 20 周年記念学習資料集
「わたしたちの荏田南」荏田南小学校創立 20 周年記念資料集

編集に携わった職員

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 白倉 晶子 | 駒沢 綾子 | 井上 強 |
| ○秋元 良子 | 吉崎 安浩 | 今泉てつみ |
| 生中 順子 | ○三村里 弥子 | 谷尾 羽依 |
| ○吉田 知子 | ○樋口由美子 | 中澤由里子 |
| 諸見 賢 | 阿久沢 奈穂 | ○長井 陽太 |
| 畠山 真理 | 瀬尾 修典 | 深川由美子 |
| ○有馬 孝子 | 木村 順一 | 北野 恵 |
| 伊藤 弘代 | ○近江 学 | 菅野 麻美 |
| 宇田川 笑子 | ○矢野 貴美子 | 後藤 敏明 |
| 仁田 峠 洋子 | 大矢 早苗 | 村上 玲子 |
| ○川畑 美夏 | 須田 亜伊子 | 成田 康孝 |
| 森 光治 | ○岸田 千鶴 | 藤沢 雪美 |
- （○印は 30 周年記念資料集編集部員）

創立 30 周年記念資料集 「わたしたちの荏田南」

発行 横浜市立荏田南小学校
発行日 2013 年 5 月
印刷 (株)第一サンエー



なまえ